



天文台だより

銀河の森天文台
2015 秋号
Vol. 69

7/11、陸別スターライトフェスティバルを開催しました！



講演会で太陽の解説をする草野完也教授

7月11日(土)、第7回陸別スターライトフェスティバルを開催しました。今年は、名古屋大学太陽地球環境研究所副所長の草野完也教授の講演会「何かおかしいぞ、最近の太陽」とアンサンブルグループ「奏楽(そら)」による「フルーツとバイオリンの調べ」ミニコンサートを行いました。

草野先生の講演会では、日本列島の形によく似た黒点が出てきたり、巨大なフレア(爆発)を起こす黒点の磁場の強さが実はピップエレキバン並みの強さしかないことなど、一般の方にも親しみやすい内容でした。

ミニコンサートは、女性3名(vn:長谷川加奈さん、fl:按田佳央理さん、pf:森希美さん)による「フルーツとバイオリンの調べ」で、美しい音色が館内に響いていました。



アンサンブルグループ「奏楽」によるミニコンサートの様子

第7回を迎えた星祭りも、たくさんの来館者があり大盛況でした。

「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

今年のスターライトフェスティバルの目玉は、草野完也名大教授による講演「何かおかしいぞ、最近の太陽」でした。11年黒点周期が13年になったり、この2-3年は太陽周期の極大期にもかかわらず、土気は上がらず、いつもの極大期の半分程度。磁気嵐の発生は少ないし、オーロラの緯度も高い。

しかし、このような「異常」事態は、今回だけではなく、実は100年前にも、200年前にも、300年前にも起きていたことがわかったのです。これらの年は、地球全体が冷え込み、オーロラも不活発。またごく最近、英国の友人ロックウッドが、西暦1700年以降、イギリスでオーロラが見えた場所を調べました。オーロラの新聞記事13,000件を集め、オーロラの緯度と太陽活動の関係から過去300年間の太陽活動度の推定ができるわけです。太陽は、地球のエネルギー源。一番近い恒星です。



(上出洋介館長)

8/19、第3回学生星空サミット開催！

8月19日(水)、第3回学生星空サミットが銀河の森天文台にて開催され、道内の5大学(北見工業大学、東京農業大学オホーツクキャンパス、釧路教育大学、帯広畜産



大学、名寄市立大学)の天文部等の学生47名が集まり、各大学の活動紹介などで大学間の交流を深めました。

新職員紹介:中島克仁(蟹座)



9月1日から銀河の森天文台で勤務することになりました。学生時代は星の撮影によく陸別町へ来ていました。陸別の星空は撮影が上手くなったと錯覚してしまうくらい美しく、その星空を求めて何度も通っていたのです。

それからウン十年経ち、またここ陸別へ戻ってきました。陸別の澄みきった空気の中見える星々は私たちを圧倒するような迫力です。ぜひ陸別でこのすばらしい星空を体験してください。

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
10月 1日	5:18	17:11	17.8	19:18	8:46
10月 15日	5:34	16:47	2.1	7:22	18:05
11月 1日	5:55	16:21	19.1	20:34	10:37
11月 15日	6:13	16:05	3.4	9:01	18:59
12月 1日	6:33	15:54	19.4	21:17	10:39
12月 15日	6:46	15:53	3.7	9:20	19:53

天文行事&暦

10月

- 8 寒露(24節気:太陽黄経195°)
- 12 天王星が衝
(光度:+5.7等, 視直径:3".7)
- 13 ●新月
- 16 水星が西方最大離角
(光度:-0.5等, 離角:18°.1)
- 22 オリオン座流星群が極大
(PM8時 最大20個/時)
- 24 霜降(24節気:太陽黄経210°)
- 26 金星が西方最大離角
(光度:-4.4等, 離角:46°.4)
- 27 ○満月

11月

- 8 立冬(24節気:太陽黄経225°)
- 12 ●新月
- 14 驚き!おもしろ科学実験2015
堀内洋平氏ミニ講演会
- 18 しし座流星群が極大
(PM1時 最大15個/時)
- 23 小雪(24節気:太陽黄経240°)
- 26 ○満月

12月

- 7 大雪(24節気:太陽黄経255°)
- 11 ●新月
- 13, 14 ふたご座流星群観望会
- 15 ふたご座流星群が極大
(AM3時 最大80個/時)
- 22 冬至(24節気:太陽黄経270°)
- 25 ○満月
- 29 水星が東方最大離角
(光度:-0.5等, 離角:19°.7)

秋のイベント情報!!

☆驚き!おもしろ科学実験2015

北海道大学、名古屋大学、北見工業大学の先生・学生が行う「驚き!おもしろ科学実験2015」を開催します。液体窒素を使った実験など様々な実験が登場します。

開催日時:11月14日(土)

科学実験コーナー:午後1時~6時

ミニ講演会:丸善出版「理科年表」編集最高責任者
堀内洋平氏講演「理科年表うらばなし」

※ 開館中は大型望遠鏡での通常観望も常時行っています

☆ふたご座流星群観望会

ふたご座流星群が12月15日の午前3時に極大(最大80個/時)を迎えます。極大に向かって流星が多く見られると予想されるため観望会を開催します。

開催日時:12月13日(日)、14日(月) ※ 12/14:特別開館

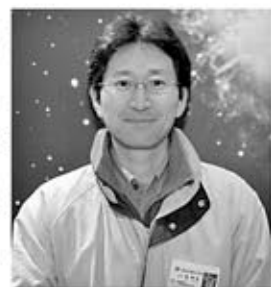
説明会:午後7時30分から

拝啓、天文台より —「アルテミス」—

夜の空気も徐々にひんやり冷たくなり、短い夏が過ぎてゆきました。天文台はたくさんのお客さまにお越しいただき、にぎわいを見せました。時折、周りの森からは、観望室の明かりに引かれ、人ならざるお客さまもいらっしゃいました。中でも存在感を放っていたのが、エメラルド色の羽を持つ美しい蛾です。その名も、オオミズアオ。調べてみると、種名に「アルテミス」を持つものもいるそうです。月の女神の名がついていました。さて、今年の中秋の名月は、9月27日。また、月の移ろいは日々の経過を感じさせてくれます。秋の夜長、涼やかな虫の声を聞きながら、お月見を楽しむのはいかがでしょうか。(守)

「18年間、ありがとうございました」

平成9年11月に陸別町に来てから早18年、これまで銀河の森天文台にて一人でも多くの方に星空・宇宙の魅力をお伝えしたい、という思いで星空の案内などをしてきました私算ですが、今年の9月末で退職することとなりました。



振り返りますと天文台のオープン準備から始まり、国際宇宙ステーションに滞在中の野口宇宙飛行士との交信イベントやプラネタリウムと望遠鏡を運んでの出前授業、低緯度オーロラの観測や流星群、皆既月食といったさまざまな観望会など実に多くの経験をさせていただきました。陸別での毎日は内容が濃く、充実した日々であり、あっという間の18年でした。

いち大学生だった私が、ここまでやってこれたのも、ひとえに皆様からの応援や支えがあったものと、深く心より感謝いたします。本当にありがとうございました。

私はこれで天文台を去りますが、これからますます皆様から愛される天文台を目指して参りますので、今後とも銀河の森天文台をどうぞよろしくお願いいたします。

算 伸浩

天文台からのお知らせ

☆ 10月より開館時間が、13:00~21:30となります。
(昼間13:00~17:00、夜間17:00~21:30)

☆ 年末年始12月28日(月)~1月5日(火)の期間は、天文台休館日となります。

発行・編集:りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp